

2. 平成 29 年度決定済みの予定

講習会	開催日	開催地・実施委員長
第 126 回細胞検査士養成講習会	2017 年 7 月 3-15 日	東京医学技術専門学校：東海大学医学部・伊藤 仁
第 42 回細胞診断学セミナー	2017 年 8 月 3-6 日	東京医学技術専門学校：教育委員長
第 73 回細胞検査士教育セミナー	2017 年 8 月 19-20 日	パシフィコ横浜メインホール
第 74 回細胞検査士教育セミナー	2017 年 9 月 9-10 日	学校法人加計学園倉敷芸術科学大学

3. 平成 28 年度 研修会・セミナー参加人数

講習会	参加人数※ () 内は前回の人数
第 125 回細胞検査士養成講習会	40 名 (39)
第 41 回細胞診断学セミナー	33 名 (24)
第 71 回細胞検査士教育セミナー	889 名 (993)
第 72 回細胞検査士教育セミナー	758 名 (651)
第 72 回細胞検査士ワークショップ	講義のみ：55 名 (110) 講義と実習：106 名 (80)

4. 細胞診断学セミナーの参加者を増やすために下記の方策をとることが説明された

- 1) 今後は募集開始日を例年より 2 か月程早める。
- 2) 一斉メールを利用し広報していく。

〔審議事項〕

1. ガイドラインを取り入れた講義内容について
教育委員会主催のセミナー・ワークショップ等の講義内容にガイドラインを取り入れることが提案され承認された。
2. 喀痰細胞診の判定区分別標準的細胞を取り入れた講義内容について
教育委員会主催のセミナー・ワークショップ等での呼吸器の講義内容に喀痰細胞診の判定区分別標準的細胞を取り入れることが提案され、承認された。
3. 青木理事長より教育委員会主催の上記講習会等において参加情報を会員カードを用いて電子的に管理を開始してほしいとの要望があり、全員異議なく可及的速やかに開始する方向となった。

渉外・広報委員会 (委員長 加来 恒壽)

〔報告事項〕

1. 他団体のセミナー・委員会等に出席し、学会として求められた対応を行うと共に、情報の収集・共有に努めた。
2. 一斉メール送信依頼文を検討し、承認、送信指示をした。

〔審議事項〕

特になし

社会保険委員会（委員長 稲山 嘉明）

〔報告事項〕

1. 平成 28 年度診療報酬改正の総括
*セルブロック法が N004 細胞診の項目に掲載された(860 点)。ただし、悪性中皮腫を疑う場合に限定されている。
*細胞診として扱われているので、現状ではこれを用いた免疫染色は不可と思われる。
2. 平成 30 年度改正にむけた要望の検討に入る。具体的には、委員会開催、メール審議、必要に応じてアンケート調査、関連学会等との話し合い、内保連出席など。

〔審議事項〕

1. 平成 30 年度診療報酬改正にむけて、社保委員会として以下のたたき台を考えている旨が説明され、了承された
 - 1)既記載技術
 - ①セルブロック法（N000，病理組織標本作製として 860 点）
細胞診の項目から組織診への項目への変更，適応拡大などをめざす
 - ②免疫染色（N002，細胞診について 400 点）
 - ③LBC（N004 注 1，婦人科細胞診について 85 点への増点）
 - ④細胞診断料（N006-2，婦人科材料について 200 点）
 - 2)未記載技術
 - ① 婦人科細胞診スクリーニング陰性標本に対する自動判定支援加算
2. 呼吸器内視鏡学会から、EBUS-TBNA に関連して「迅速細胞診 rapid on-site evaluation (ROSE)」の共同提案依頼があった。当委員会でメール審議の結果、応諾したいと考えている。ただし、本学会の理念に抵触する部分がある可能性も懸念されるため、慎重に検討するとのことであった。前田理事より細胞診を用いた遺伝子検査について本学会の姿勢を示す必要があるのではないかという提案があった。稲山理事から、以前厚労省に提案した経緯もあったが承認されなかったとの説明があった。
川本理事より他の領域の迅速細胞診についても考える必要があるとの発言があった。

地域連絡委員会（委員長 広岡 保明）

〔報告事項〕

1. 平成 27 年度地域学会・連合会活動報告について、報告書提出の案内を 2017 年 1 月より開始予定である。
2. 子宮頸がん検診推進活動支援について
 - 1) 平成 27 年度の活動支援について
申請件数 42 件。実施内容を提出した地域学会へ支援を行う。
支援費用については、5 万円を上限とした。
実施内容提出および支援件数 41 件（2016 年 9 月 8 日現在）

1 件は実施内容書類の提出待ちである。

2) 平成 28 年度の活動支援について

希望地域は 3 月末日までに企画書を提出するよう依頼した。

〔審議事項〕

特になし

国際交流委員会 (委員長 森谷 卓也)

〔報告事項〕

1. 2 国間交流

1) 第 6 回日中細胞診合同会議は開催に向けて日程等調整中。

2) 第 15 回日韓細胞診合同会議

開催日：2016 年 10 月 29 日(土)

開催地：韓国・済州島(Jeju Hyatt Hotel)

(本年は韓国細胞診の 30 周年にあたり、行事が催される予定)

(2017 年以降は毎年 9 月第 1 週金曜日・土曜日に開催の予定)

2. 国際・アジアフォーラム

1) 第 55 回日本臨床細胞学会秋期大会(会長 横山繁生)

開催日：2016 年 11 月 18 日(金)-19 日(土)

開催地：別府

国際・アジアフォーラム(Global Asia Forum)

担当：南部委員，小林先生

2) 第 58 回日本臨床細胞学会総会(春期大会)(会長 植田政嗣)

開催日：2017 年 5 月 26 日(金)-28 日(日)

開催地：大阪

国際・アジアフォーラム(Global Asia Forum)

担当：中尾委員，小松委員，小林先生

3. その他

1) 豪州との交流事業について：人事交流を継続する方針であることが説明され、今後の大会長にも協力が要請された。

2) 2018 年の欧州細胞学会議における Companion Meeting への招請があり、今後検討することが説明された。

〔審議事項〕

1. カンボジアの医師招請について：カンボジアとの交流について：学術集会に定期的に医師を招請することを検討いただきたいとの提案があり、審議の結果 5 年をめどに行うことが承認された。

制度審議委員会（委員長 川本 雅司）

〔報告事項〕

1. 理事会，総会承認に基づく定款，細則改定の実施を行っている。
2. 各委員会内規の把握と取りまとめの実施を徹底したい。

〔審議事項〕

1. 文書管理規定の改定（文書の電子媒体による管理）について審議され，承認された。

医療安全委員会（委員長 森井 英一）

〔報告事項〕

1. 医療安全セミナーの開催
第55回(2016年)秋期大会において医療安全セミナーを開催する。第57回総会では「臨床細胞検査等における医療安全について」を行った。
2. 第55回秋期大会では，医療安全セミナー「医療事故の対処手法に関する一考察」とともに，医療安全の観点から特に重要な感染対策についてのセミナーも開催する。
3. MSC ホットラインを継続する。利用実績が乏しいので周知を図るよう努力する。

〔審議事項〕

特になし

倫理委員会（委員長 伊藤 潔）

〔報告事項〕

1. 第55回(2016年)秋期大会では，倫理委員会指定セミナーとして，大分大学倫理学講座の今井浩光教授による講演を予定。

〔審議事項〕

特になし

利益相反委員会（委員長 藤井 多久磨）

〔報告事項〕

1. COI に対する Q&A を「細胞診断学に関する医学研究の利益相反指針・細則に関する Q&A」として，HP とイエローページに掲載した。
2. 利益相反委員会の内規を作成し，制度審議委員会に提出をした。
3. 就任中の役員・委員長・倫理委員・利益相反委員に，2016年分の利益相反自己申告書の提出を依頼する。（2017年3月1日発送，提出期限2週間後）

〔審議事項〕

特になし

臨床試験審査委員会（委員長 中村 直哉）

〔報告事項〕

1. 臨床試験審査を随時行っていく。
2. 倫理委員会および臨床試験審査委員会の外部委員に明治大学法学部 小西知世准教授

を決定.

〔審議事項〕

特になし

IAC 連絡委員会 (委員長 長村 義之)

〔報告事項〕

1. Executive Council 2016-2019がICC Yokohamaの終了とともに職務を開始されたことが報告された.

Acta Cytologica の投稿数増加・2017 の IF 奪還, IAC 試験の実施, Tutorial の推進, Education material の充実など課題が多数. JSCC の会員の方々のご支援をお願いしたいとの要請があった. また, Acta Cytologica の件については本部に確認することが述べられた.

〔審議事項〕

特になし

泌尿器細胞診新報告様式解説書刊行ワーキンググループ (委員長 白石 泰三)

〔報告事項〕

1. 泌尿器細胞診新報告様式解説書の PDF をホームページに掲載した. 会員は自由にダウンロード出来る. Paris system との関係性について問い合わせがあったので, それを示すための改訂作業を行っている.
2. 本 WG としては冊子体での解説書の発刊は行わない. 発刊については診断カテゴリー毎の尿路上皮癌のリスクが数値化された時点で提案を行う.
3. 本 WG は年度内で終了する.

〔審議事項〕

特になし

臨床試験ワーキンググループ (委員長 寺本 勝寛)

〔報告事項〕

1. 「一般住民を対象とした子宮頸がん検診における液状化検体細胞診とHPV DNA 検査との併用法の有用性を評価する前向き無作為化比較研究(CITRUS study)」

(山梨県, 千葉県柏市)

〔進捗状況〕

・最終登録数は18,471例(山梨県12,192例, 柏市6,279例)であった. 今後, 追跡調査を継続する.

・山梨県における研究協力医療施設や自治体担当者を対象とした「中間報告会」を, コラニー文化ホール(甲府市)において2016年9月26日に開催した. 参加者は医療施設21名, 自治体担当者 6名を含めた全36名であった.

2. 「子宮頸癌疑い患者及び検診受診者を対象とした LC-1000 の有用性に関する臨床試験」
目的: 要精密検査目的で来院した子宮頸癌疑い患者, 及び検診受診者を対象とし,

LC-1000(剥離細胞分析装置：一般医療機器 シスメックス社製)により算出されたCPIx(Cell Proliferation Index)に基づく定性判定の有用性を、HPV検査と比較することにより検証する。中間報告会を2016年2月20日に行った。

〔試験予定期間及び目標症例数〕

- ・試験予定期間：2015年6月～2017年3月(終了予定)
- ・目標予定症例数：要精密検査対象者：約400例，検診受診者：約480例

〔進捗状況〕

- ・現在の進捗：要精密検査対象者：合計488(2016.9.30時点)

Disease例蓄積のため、現在も症例集積中である。

〔審議事項〕

特になし

細胞診専門医制度改革推進ワーキンググループ(委員長 植田 政嗣)

〔報告事項〕

1. 細胞診専門医制度の今後の方向性について通信委員会等で討議している。
日本専門医機構のヒアリング参加を6月20日(月)19:00～20:00に行った。
2. 新しい細胞診専門医制度の運用面も含めて細胞診専門医あり方委員会，細胞診専門医委員会，施設認定制度委員会と協力して施行細則整備を行っている。
3. 平成28年度教育研修指導医申請と認定作業を実施。

〔審議事項〕

特になし

肺がん学会とのワーキンググループ(委員長代理 池田徳彦)

〔報告事項〕

1. 喀痰細胞診に関する地域・施設・検鏡者による診断率の差に関する研究をしていく。
2. 既に日本肺癌学会ホームページに掲載されている標準的な細胞像のアトラスを日本臨床細胞学会ホームページへリンクした。
3. 2016年11月19日，第55回日本臨床細胞学会秋季大会第2日目に2学会合同委員会を開催予定。
4. 2017年3月11-12日開催の第73回細胞検査士ワークショップにて，当ワーキンググループが選択，作成，準備した，喀痰細胞診での，C判定細胞，D判定細胞，E判定細胞の標準細胞プレパラートの閲覧を行う予定。

〔審議事項〕

特になし

教育研修に関わるガイドライン検討ワーキンググループ（委員長 杉山 裕子）

〔報告事項〕

1. 第2回教育研修に関わるガイドライン検討ワーキンググループ会議報告

（2016年9月11日 15:00～16:00 日本臨床細胞学会地下2階）

ガイドラインの名称を日本専門医機構に準じた形で、「細胞診を通じてわが国および国境を越えて医療・医学に貢献する活動を目指す日本臨床細胞学会」にふさわしい、細胞診専門医の教育研修・認定システムに使用されることを目指しているため、「細胞診専門医教育研修ガイドライン」と名称を改め、改訂ガイドライン作業の基本骨子（下記）に基づき作成することを確認した。

従来のガイドラインの形式を引き継ぎ、総論と各論に分け、各論は下記①-③を記載。

- ① 細胞診報告様式
- ② 細胞診の教育研修に重要と考えられる疾患名または細胞診用語の列記
- ③ 細胞診の教育研修に重要と考えられる研修事項があれば、文章にて記載

2. 進捗状況報告（2016年10月31日現在）

- ① 全体の原稿が完成し、ガイドライン検討ワーキンググループ委員間で再確認中（2016年12月中（第2版）（案）を完成予定）
- ② 2016年11月19日14:30～15:30 細胞診専門医セミナーにて進捗状況を報告「細胞診専門医研修ガイドライン（案）」を「細胞診専門医教育研修要綱（案）」に改称することをWG委員会に提案する予定。
- ③ 2017年春の理事会にて承認予定

〔審議事項〕

1. 今後のタイムスケジュールについて議論され、3月11日の理事会で承認し、次年度の専門医認定試験より用いる方向性が承認された。

10. その他

1. 全国選出理事候補選挙結果について（佐藤之俊理事候補選挙管理委員会委員長）
平成29・30年度全国理事候補選挙の開票が行われ、21名が選出され、次点者9名の順位が決定されたことが報告された。

11. 審議事項

1. 地方選出理事候補選挙地方比例配分について（佐藤之俊理事候補選挙管理委員会委員長）：
地方選出理事候補選挙における比例配分について議論され、施行細則に則り北海道1名、東北1名、関東5名、中部1名、近畿2名、中国四国1名、九州2名の計13名とすることが承認された。
2. 第60回春期大会・総会の大会長について：内藤善哉理事が推薦され、全会一致で承認された。

閉会の挨拶：紀川 純三 副理事長


以上を以って本理事会の議題が終了し、平成 28 年度第 3 回理事会を終了した。

平成 29 年 1 月 18 日

この議事録が正確であることを証します。

理事長 青木大輔 

監事 長村 義之 

監事 長谷川 嘉彦 

監事 佐々木 寛 